

増穂だより

vol.240



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <https://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 令和7年5月2日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



Contents

■ 学年情報 (中学 / 高校)	2P	■ SSH の取り組み	4P ~ 5P
■ PTA 情報 / 後援部情報	3P	■ 中学 24 期生卒業式 / 2025 年度入学式 / トピックス	6P



学年情報

中学1年 傾聴から始まる成長
学年主任

ご入学から約1か月が経ちました。はじめは緊張した表情も見られましたが、今では笑顔で登校し、友人との会話や授業にも積極的に取り組む姿が増えてきました。少しずつ中学校生活のリズムがつかめてきたように感じます。学年目標は「傾聴」です。この言葉には、相手の言葉に耳を傾け、気持ちや考えを深いレベルで理解すること、そして相手からのアドバイスを素直に受けとめ、自分の成長につなげるという思いを込めています。日々の生活の中で、仲間や教員との関わりを通じてこの姿勢を大切にしてほしいと願っています。これから、学校生活や友人関係に慣れていくと、自我がでたり、心が緩んだりすることもあります。日々声をかけ、小さな成長の積み重ねを大切にしながら、学年全体で温かい雰囲気を育んでいきたいと思ひます。保護者のみなさまのご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

高校1年 視野は広く、思考は深く
学年主任

46期生312名、高校生活がスタートしました。学年目標は「視野は広く、思考は深く」です。多様な価値観や経験にふれ、自分の視野を広げながら、一つひとつの出来事とじっくり向き合い、自分なりの考えを深めていってほしいと願っています。この目標を、生徒と教員が共通の規範として意識し、日々の生徒との対話のなかで「視野が広がって素晴らしいね!」といった声かけをしていきたいと考えています。

4月には、担任が生徒一人ひとりと面談を行い、将来の目標や現在の悩み、学校生活の様子などについて、直接対話の機会を持つことができました。入学から1か月が経ち、慣れない環境の中で少しずつ疲れが見え始める時期かと思ひます。学習・行事・部活動等にはっきり取り組みながら、目標に向かって一歩ずつ前進していってほしいと願っています。保護者の皆様には、温かなご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

中学2年 「3」
学年主任

2年生になり半月が過ぎました。新たなクラスメートと出会い、新たな人間関係を築き、その中から自分の違う側面を発見できる時期でもあります。また後輩ができ、部活動に勉強に一層気を引き締めて取り組める時期でもあります。逆に、環境の変化から悩みも生まれがちな時期でもあります。そんな時は一人で悩まず、ぜひ身の回りにいる人に相談してみてください。一人では考えつかないようないい知恵が出てくるかもしれません。ちなみに「三人寄れば文殊の知恵」という言葉があります。二人では「相談」ですが、三人になれば第三者の「新たな意見」が生まれます。「2」は対立・主従・従属という線のつながり、「3」は調和・安定を生み出す数字です。また3は「みつつ」と読むことから「満」「充」と縁起のいい数字でもあります。今年度、中2の皆さんにとって「満」足のいく、「充」実した学年になりますように。

高校2年 「深く楽しむ」ことへの挑戦
学年主任

「楽しむ」ことの深さの段階について、主体性を軸に考えてみると、例えば受容→参加→表現→共有→内省→貢献といった言葉を用いた分類ができます。具体的に文化祭や、部活動などを考えてみると分かりやすいでしょう。これから先、目の前の困難と立ち向かうときに「楽しむ」ことで乗り越えられる場面は多くあります。例えば本番や試合で「緊張を楽しむ」こと、難しいことへの「克服を楽しむ」ことなどです。困難さの伴う場面を楽しむためには、深く楽しむ力が求められます。高2という時期は、楽しむチャンスが多くあります。だからこそ漫然と楽しむのではなく、いかに深く楽しむかを考えてチャレンジしてみましよう。「深く楽しむ力」は自分で育てるもので、将来を切り拓く大きな糧になるはずです。個儻不羈なチーム45期が深く楽しむことへの挑戦を楽しみに期待しています。

中学3年 自覚と自律
学年主任

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。中学25期生も中学最高学年となる3年目に突入しました。子供達の表情も一段と引き締まってきたように思われます。部活動や委員会、学校行事だけでなく学校外での活動にも積極的に関わりを持って欲しいものです。8月末からのニュージーランド研修に向けた事前学習も順調に進んでおります。研修を通してグローバル人材としての力を身につけることを目標に、英語力を養うことはもちろん、異文化理解や責任ある行動をとれる力を育成していきたいと考えております。しかし中高6か年を考えると、第2ステージに突入したばかりとも言えます。ここからは進路発見と実現に向けて行動する時期となります。手帳指導を中心にセルフプロデュースができるよう、また、中学最上級生としてリーダーシップを発揮できる生徒を育てていきたいと思っております。

高校3年 悔いのない選択を
学年主任

前後際断、一つひとつの選択がその人の人生を“創って”いくと思ひます。特にお子様には悔いのない選択をしてほしいと願うばかりです。下記、迷ったときの7観点です。もしよければ、ご活用ください。①「どちらが楽か」ではなく、「どちらが楽しいか」②「どちらが得か」ではなく、「どちらが徳か」③「どちらが正しいか」ではなく、「どちらが心が温まるか」④「どちらが損しないか」ではなく、「どちらが後悔しないか」⑤「どちらが失敗しないか」ではなく、「どちらがやってみたいか」⑥「どちらが得意か」ではなく、「どちらがワクワクするか」⑦「どちらが簡単か」ではなく、「どちらが成長できるか」最後になりますが、保護者の皆様と協働しながら、「感謝・幸せ・成長」の心を持ちながら、お子様のサポートを全力で行うことを誓ひます。

P T A 情報
2025年度PTA活動について
PTA会長

中学・高校の新入生並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解・ご協力頂き、誠にありがとうございます。

今年度も、本校の生徒達が充実した学校生活を送るための一助となれるようPTA本部も活動して参りますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

①PTA活動について

本校のPTAは、会則にもありますように「学校と家庭との関係を密接にし、地域社会とも協力して、生徒の正しい成長と学校の発展に資すると共に会員相互の研修親睦を図る」ことを目的として、学校と連携し、生徒の学校生活を支援する活動をおこなっています。保護者の皆様にもぜひPTA活動を通じて学校の雰囲気を感じたり、保護者相互の親睦を深めたりしていただきたいと思っております。

②幹事会活動について

PTA活動の中心となるクラス幹事は、4月のクラス保護者会で選出頂きました。それぞれにご事情のあるなかで幹事を引き受けていただいた皆様には心より感謝申し上げます。

幹事の皆様は、定期的に開催する幹事会に出席していただいた際に、日頃の学校や生徒達の様子を垣間見ることができます。また、校長先生から学校の近況報告を聞く機会も得られます。クラス幹事の役割は学校と保護者との橋渡し役、そして芝柏を陰ながら盛り上げていくことです。今年度もクラス幹事を中心として、各クラスの保護者の皆様や教職員の方々、さらにPTA本部役員が連携・協力しながら有意義な活動をしていきたいと思ひます。また、学年毎に選任する学年代表の皆様は、PTA役員会にもご参加頂き各学年の活動報告などを行って頂きます。

③年間行事予定について

PTA年間行事は、①クラス懇親会の開催（年2回程度）、②増穂祭（文化祭）への各部門出展、③文化委員による文化講演会の開催、④次期役員選考

委員による次年度本部役員の選考・推薦⑤私学振興大会への参加となります。

また先生方と保護者の皆様との全体懇親会も5月と1月の年2回開催を予定していますので、会員相互の親睦を図る為にも保護者の皆さんにご参加頂ければと思ひます。

④学年幹事会活動について

卒業年度の学年幹事会活動として、中学3年の「巣立ちの会」、高校3年の「卒業を祝う会」を開催しています。これらの企画・準備・運営は当該学年のクラス幹事の皆様を中心に先生方と連携して活動を行って頂ければと思ひます。

⑤その他のPTA活動について

保護者全員を対象に、希望者ならどなたでも参加できる活動として、以下の2つの取り組みがあります。

『仕事塾』

生徒の総合学習・キャリア教育の一環で、年2回開催しています。働くことの楽しさや保護者ご自身のこれまでの経験をお話頂き、生徒たちの進路選択の一助となることを目的にしています。生徒の身近な人生の先輩として様々な職種の保護者の方にお話いただければ幸いです。

『花壇整備活動』

「ぐりーんさぼーたあ」通称「ぐりさぼ」として、学校構内の美化活動を月2回程度・土曜日の午前中に行っています。保護者の皆さんの都合の良い時にご参加頂けます。花壇やプランターの整備といった活動を通じて学年を超えた保護者間の交流の場にもなっています。

これら二つの活動は保護者の皆様が学校に来られる機会が少ないこと、特に男性の方は子供の通う学校について知る機会があまりないのではないかと、ということで、一人でも多くの方に学校へ来ていただきたいの思いから始めました。先日の保護者会でもこれらの活動概要を資料としてさくら連絡網にて配布しておりますので、ぜひご一読いただき、活動に参加していただければと思ひます。

最後に本年5月10日開催のPTA総会にて、本年度の本部役員が新たに選任されます。新体制においても協力しながら楽しく活動していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

後援部情報
今年の後援部活動もご期待下さい
後援部部長

今年も新年度を迎え、新高校生312名新中学生186名の皆さん、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。新しい生活はどうでしょうか。今年は冬が長く、やっとな桜が満開になりました。後援部は、PTA組織の一部で、会費を生徒や教職員の教育環境に役立つよう、どのような支援をするか検討し、実行していく役割を担っています。その為、主に施設・設備並びに教育用備品、クラブ活動に関する支援について、中長期的視点をもって検討を行っています。

後援部は昨年度、たくさんの支援をいただきました。カフェテリアのロールカーテン設置、グラウンド倉庫、生徒会マイク設備、コンピューター部のパソコン、カフェテリア内電子レンジ2台、進路室書棚、茶道部冷蔵庫、バスケット部レフェリーウェア、カフェテリア製氷機、HDビデオスリッター、野球部ラブソード、GlobalLink.Singapore 旅費代金支援、多数の懸垂幕作成、などの支援を致しました。

今年に入って運動会などの学校行事で使用するテント購入の申請を可決致しました。本年度の大きな後援部の活動として、今年の増穂祭にも後援部カフェを出店する予定です。毎年多数のアンケートを頂き有難うございます。とても参考になる意見を、頂いております。そのアンケートをもとに、後援部でどんな支援をしたら良いか、部員全員で考えています。

何かお困りの事がありましたら、後援部の事を思いだして下さい。

昨年元旦の能登半島地震をはじめ、日本だけでは無く、世界各地で地震が起きております。南海トラフ地震も心配です。後援部では地震の時、帰宅困難者の為に、携帯を充電する、予備バッテリーをテストで数台買って学校で試験運用しております。今後数を増やし、災害時に備えたいと思っております。停電時、何も発電設備の無い学校に、帰宅できない生徒が避難しているのも心配です。このようにその時何が必要なのか、考えて提案して行きたいと考えております。先生、生徒、保護者様、困った事がありましたら、後援部にご相談下さい。

今年も部員全員元気に皆さんに喜んで頂ける、支援を考えて行きます。引き続き、皆様のご理解とご協力を頂きたく、宜しくお願ひします。

SSHの取り組み

SSH 指定第Ⅲ期2年目がスタートしました

SSH 統括室

本校は、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の第Ⅲ期指定を受け、2年目の取り組みを迎えました。今年度も、科学的な探究を通じて、生徒一人ひとりが自らの興味・関心を深め、社会とつながる視点を養う教育をさらに発展させてまいります。

SSH 第Ⅲ期では、すべての生徒が課題研究に取り組むことが大きな特徴です。自ら問いを立て、仮説を構築し、調査・実験・考察を通して検証する過程において、生徒たちは問題発見力や論理的思考力、表現力を高めています。研究テーマは多様で、身近な疑問からグローバルな課題まで幅広く、生徒の主体性が色濃く表れています。また、放課後や長期休暇の時間も活用して、より専門的に探究を深められる機会も整っており、自らの関心を追究できる環境が広がっています。

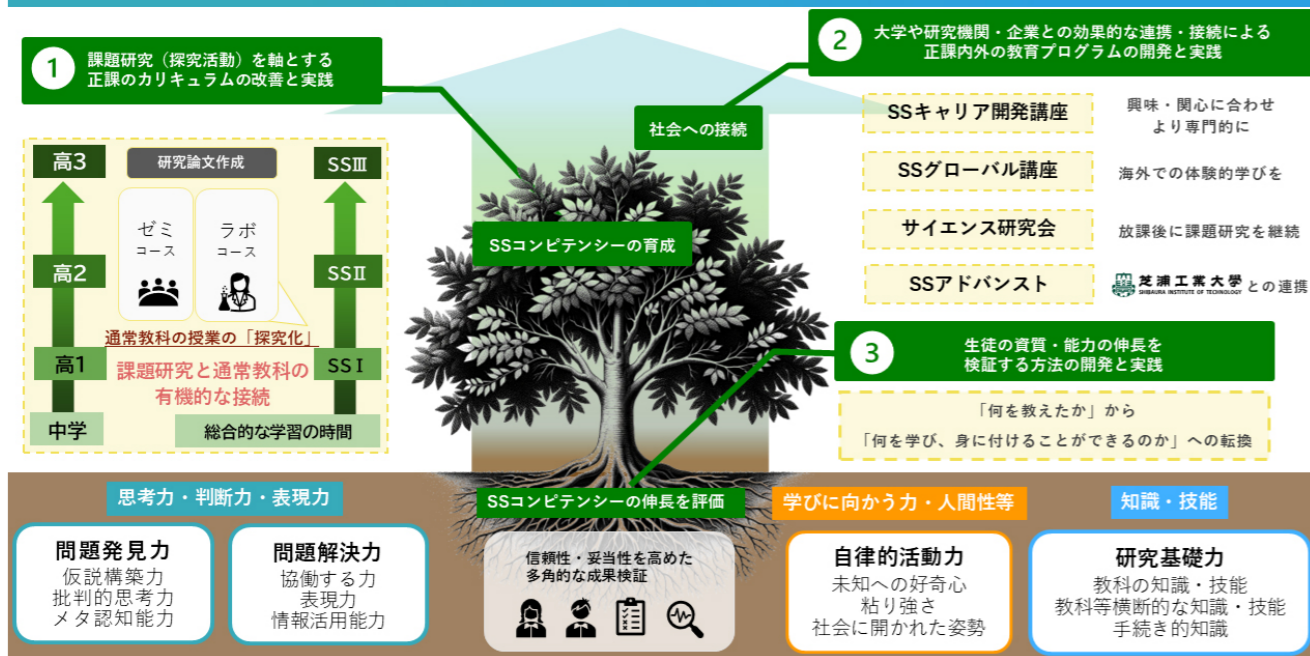
これらの探究活動を支えるため、本校では教科の授業自体を「探究化」する取り組みも進めています。課題研究と教科の学びが有機的につながるよう、教科横断的な視点や思考力を重視した授業設計を行い、従来の知識伝達型の授業に加え、実社会や未来と接続する学びが展開されています。例年11月には、全国の教育関係者を対象に、公開研究授業を開催しており、本校の実践と成果を広く発信しています。

また、本校では大学や研究機関、企業、さらには海外との連携を積極的に進めており、学校外の学びを取り入れた多様なプログラムを展開しています。大学の研究室での実習や外部講師との協働活動、海外での体験学習を通じて、生徒たちは教室の枠を越えた実践的な学びを得ています。これらの経験は、自らの研究が社会とどう関わるかを考えるきっかけとなり、進路選択にも大きな影響を与えています。

育成を目指す「SS コンピテンシー」は、文部科学省の定める「学力の三要素」と深く関わっています。知識・技能に加えて、課題を主体的に見つけ出す力、論理的に考え判断し表現する力、そして学びに向かう力や他者と協働する姿勢などを、多面的に育成・評価していくことが私たちの目指す方向です。「何を教えたか」ではなく、「生徒が何を学び、身につけたか」を大切に、多角的で信頼性の高い評価方法の開発にも取り組んでいます。

2年目を迎える今年度は、こうした探究の取り組みをさらに深化させ、より多くの生徒が自らの可能性を発見し、力を伸ばせる環境づくりを進めてまいります。本校には、挑戦を応援する仕組みと、多様な学びのチャンスがあります。生徒の皆さんには、自分の興味や関心を大切にしながら、新しいことにどんどん挑戦し、自分の力をのびのびと発揮してほしいと思います。保護者の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

芝浦柏の探究プログラム



SSH事業の概念図

生徒が参加する発表会や外部コンテスト

SSH 事業における探究活動の成果を広く発信する場として、さまざまな発表機会を設けています。校内での中間・最終発表会はもちろん、他校との合同発表会、外部コンテストやシンポジウムにも積極的に参加しています。

昨年度の実績（一部抜粋）

時期	内容
7月	Global Link Singapore 2024
8月	校内文化活動発表交流会
8月	令和6年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会
9月	第68回全国学芸サイエンスコンクール
9月	千葉大学主催 第18回高校生生理科研究発表会
9月	令和6年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展
10月	JSEC2024(第22回高校生・高専生科学技術チャレンジ)
10月	高校化学グランドコンテスト 2024 最終選考会
11月	第68回日本学生科学賞
11月	金沢大学主催 第7回日本数学 A-lympiad
12月	東京科学大学 第17回高校生バイオコン 2024
1月	第35回日本数学オリンピック予選
1月	第23回日本ジュニア数学オリンピック予選
2月	第十回 高校生国際シンポジウム
2月	令和六年度 生徒探究発表会
3月	関東近県 SSH 指定校合同発表会
3月	千葉県 SSH 指定校合同発表会

SS キャリア開発講座

本校では、SSH の枠組みの中で「SS キャリア開発講座」を開講し、探究と進路との接続を図る取組を行っています。この講座では、科学・技術・工学・数学等の分野に関連する職業や研究を実際に行っている専門家をお招きし、講話やワークショップを通じて、生徒が将来のキャリアを具体的にイメージできるよう支援しています。時間割の枠にとどまらない学びを提供するため、今年度も多くの企画を実施予定です。

昨年度の実施内容（一部抜粋）

実施月	取組内容
4月	GFEST（筑波大学）説明会
6月	特別講座「工学を学ぶ意義」（京都先端科学大学）
6~7月	高校42期卒業生による探究講演会、キャリアを考える卒業生講演会
8月	東京大学見学ツアー
10月	特別講座「和算の世界を旅する」
10月	恐竜研究についてのオンライン講演会（福井県立大学）
10月	工学系理系女子育成交流会
10月	竹中工務店技術研究所見学会
11月	早稲田大学創造理工学部 模擬講義
11月	中学生・高校生のためのSBMC Junior ビジネスモデル発表会・交流会
12月	高レベル放射性廃棄物の地層処分について（原子力発電環境整備機構）
12月	化学オリンピック実験講座
12月	東京大学 FS CREATION 実験講座
1月	オンライン講演会「法医学入門 DNA 鑑定について学んでみよう」
1月	三菱みらい育成財団採択プログラム Future Life Design Lab
2月	PCR 法実験講座（東邦大学）

SS グローバル講座

本校では、海外での体験的学びを含む探究プログラムを展開しており、生徒が自らの研究や関心を国際的な文脈で捉え直す機会を設けています。たとえば、英語によるプレゼンテーションやディスカッションを行う場面も多く、語学力だけでなく、異文化理解や柔軟な思考力も問われます。現地の学生や研究者と交流する中で、生徒たちは自分たちの問いや探究テーマが世界とどうつながっているのかを考え直すきっかけを得ています。

時期	昨年度の取組内容
4月	第14回タイ SCIUS フォーラム
7~8月	夏期短期留学（英・豪・加・米）
8月	高大接続短期留学（加）
9月	夏期（高大接続）短期留学プログラムレポート作成・提出
10月	アイルランド エメラルド・カルチュラル・インスティテュート進学説明会
10月	ロンドン大学 UCL、クイーンズランド工科大学 QUT、ブリティッシュコロンビア大学 UBC 進学説明会
12月	イタリアのイステイトゥート・マランゴニ大学進学説明会
10~12月の毎週土曜日	ベトナム FPT 高校とのオンライン共同研究
11月	メルボルン大学座談会
1月	SSH ベトナム海外研修
1月	イノベティブ・サイエンス・フェスタ 2025（沖縄先端科学技術大学院大学：OIST）
2月	次年度に向けた海外留学総合説明会
2月	千葉大学国際研究発表会
2月	SSH 生徒探究発表会でベトナム FPT 高校との共同研究の成果を発表
2月	ギャノン大学によるアメリカ留学説明会
3月	アイスランド探究ツアー

芝浦工業大学との高大接続

芝浦工業大学への進学を強く希望する高校2年生のうち、明確な進路意識と十分な学力を有している生徒を選抜し、高校3年次に高大接続プログラムを実施しています。

前期（4月～9月）は大学の講義を受講し、大学生と共にグループワークや課題に取り組みます。また、本校教員の指導のもと、自分の興味のある学部・学科についての先行研究を調査し、生成 AI の活用について学ぶなどしながら、後期の10月からは高大連携研究の計画書を作成します。育成すべき資質・能力についての共通理解をもとにした大学教員や大学院生からの指導助言で研究計画を改善し、定期的なアドバイスのもとでおよそ4か月にわたり研究を進めます。年度末の2月に本校で開催される生徒探究発表会にてその成果を校内外に向け発信します。



■ 中学校 24 期生 卒業式 ■

3 年 D 組

温かな日が増え始め、ようやく春を感じられる季節となりました。

僕達中学二十四期は三年前、この学校にそれぞれいろいろな希望を胸に置いて入学しました。この学校で出会えた、先生方や友達に助けられながら、この三年間を過ごして来れました。改めて、本当にありがとうございました。卒業生を代表して、感謝の言葉を述べたいと思います。

まず、校長先生。僕達が入学したときから就任されて、この三年間、行事を通してたくさんのご支援やご指導をしてくださり、ありがとうございました。

次に、学年の先生方、僕達が多くの行事を経験し、楽しい中学生時代を送ることができたのは先生方のおかげです。どの行事を通して、お忙しい中、僕達生徒に寄り添って多くのご協力をいただいたこと、とても感謝してもしきれません。

そして、家族へ。僕達が三年間、こ

の学校で楽しい生活が送れたのも、家族のおかげです。家族のみんながいてくればここまで来れなかったと思います。日頃、あまり感謝を伝えられていないので、この場を借りて、伝えさせてください。本当にありがとうございます。

最後に同級生へ。この三年間、色々なことがあったけどそのたびにお互いに協力して慰め合って、乗り越えてきました。同級生がみんなで、本当に良かったと思っています。本当にありがとうございます。

最後になりますが、僕達はこの中学校生活で経験したことを必ず、高校生活に活かして生きていきたいです。そして卒業証書を、「未来のなりたい自分」への切符として、努力を重ねて行きたいです。本当にこの三年間ありがとうございました。



■ 2025 年度 入学式 ■



Topics

第8回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会 第6位入賞!

3月16日(日)に開催された同大会に本校中学三年(現高1)の英語部員と有志の四名が参加して堂々の入賞を果たしました。この大会には全国の強豪校が多く集まり、その場で与えられた議題に「賛成」か「反対」立場から英語で議論をする非常に難しいものです。大会前には高校の全国大会に出場した先達達とも練習を積み重ねてきました。その成果もあったと思います。本当におめでとうございます。



第1グラウンド人工芝張替え工事完了

本校第1グラウンドは2013年5月23日に完成した全天候型人工芝グラウンドです。今年1月7日～3月10日の間、改修工事を行い、張替工事が完了しました。今回敷設された住ゴム産業の「ハイブリッドターフ EX」は、耐久性が高く、芝立ちもよい、プロスポーツの練習場でも採用されている高性能の人工芝です。グラウンド全面174か所からミスト散水が可能なおうえ、表層に温度抑制効果のある特殊樹脂チップを採用し、夏場の暑さ対策にも配慮されています。また、同社には、2月28日に主にグラウンド使用部活の生徒・教員を対象に、「スポーツ人工芝の環境配慮の取り組みについて」の講演会を実施していただきました。使用開始となる3月10日には廣幡八幡神社の神主さんをお招きし、安全祈願祭も執り行われました。

